

性教育通信



日南振徳高校 性教育推進委員会

平成31年3月

今年度、実施した性教育に関する講演やグループワークについて紹介します。性には、生命の誕生や命の大切さ、性の多様性など様々なものがあります。今年は、LGBTに関する講演や各学年での講話やグループワークを実施しました。みなさんの心に何か一つでも響いてくれることを祈っています。

【実施日】平成30年6月22日（金）7限目

【テーマ】「わがままな手の祈り」

【内容】・LGBTの意味、説明

- ・当事者の幼少期から現在に至るまで
- ・今後の社会に望むこと

【講師】宮崎県男女共同参画地域推進員 黒木 瑞季 氏



講演後の感想文の一部を紹介します

今日の講演を通して、人間はその性になりたくて、生まれてきた人がいないと思うし、生きるためには自由なところもあっていいと思います。個性があることで、人の良い所を見つけることができたり、生きていくためには、自分を隠さずありのままを見せることも大事なんじゃないかなと思いました。1人1人個性を大切にしていって、それをお互い認めていくことが大事だと思いました。

LGBTという言葉は聞いたことはありました。しかし、意味自体をきちんと理解していたわけではないと気づくことができました。外見を見るだけでは気づくことができません。だからこそ、気づかないうちに傷つけてしまっていることもあると気づき、そのような社会ではいけないと思いました。「みんなちがってみんないい」や「十人十色」という言葉が社会で広がることで、傷つけてしまうこともなくなるのではないかと考えました。

1年



【実施日】平成30年11月21日（水）6限目

【テーマ】「思春期の性と生について」

【内容】・男女の性意識の違い

- ・性感染症
- ・若年妊娠と人工妊娠中絶率の実態
- ・新しい生命の誕生

【講師】産婦人科 たなかクリニック 田中 茂樹 氏



講話後の感想文の一部を紹介します

今回の講話では、自分のことも相手のことも大切にしないといけないということが今までよりいっそう分かりました。また、宮崎県は、人工妊娠中絶が多いことにとってもびっくりしました。ですが、安全に産みやすい県だということは嬉しかったです。これからは、ちゃんと考えて行動していこうと思いました。

自分や友達が生まれる確率は、宝くじや何よりも確率が高いということを聞いてびっくりしたと同時にもっと友達や自分を大切に生きていこうと強く思いました。

【実施日】平成30年12月14日（金）6・7限目

【テーマ】「WYSH 教育」

【内 容】・主要講義 「これだけは知っておこう！エイズ・性感染症・中絶のこと」

・グループワーク 「高校生で性関係を持つことについて、他の人はどう思ってるの？」

・ビデオ 「人と人とのつながり」

3年



WYSH 教育後の感想文の一部を紹介します



3年生にとって
最後の性教育でした！



最後のスライドで「あなたはだれとどのように
に生きていますか？」とでてきて、将来のことは
わからないけれど、今をしっかりと生きようと思
いました。今は今隣にいる人と幸せになりたい
と思いますが、将来は全くの別人と婚約する
かもしれません。今の自分の行動が将来の自分
の行動を制限することがないように気をつけ
ようと思います。いつものような性教育ではな
く、積極的に参加できました。

今日の WYSH 教育を受けて、改めて性に対する意識を高めることができました。最後の性教育だったので真剣に取り組むことができました。1、2年次の保健の授業以外で学んだことがたくさんありました。自分の意見と他に班の人達の意見を聞くことができ、みんながどう思っているのかも分かりました。異性との関係では、相手のことを考えて向き合いたいと思いました。これから社会に出ていくのでしっかり相手のことを考えて行動したいです。

【実施日】平成31年1月25日（金）7限目 グループワーク

【テーマ】「デートDVについて～暴力による支配は愛の証？～」

【内 容】・デートDVについて知る

・グループワーク（事例検討、相手に求める対応、自分の対応策）

・IメッセージとYOUメッセージ



2年



グループワーク後の感想文の一部を紹介します

今日の授業を通して、DVは決してあってはいけないものだ改めて感じることができました。これからどんな人と接する時でも相手が傷つくYOUメッセージではなく、相手の事を考えられるIメッセージを使っていきたいです。自分の周りにデートDVをしている人、されている人がいたら、止められる、助けてあげられる人になりたいです。

今日の授業を通して、“男だから”とか“女だから”というのではなく、対等な関係であるということを常に心に持っておくべきだと改めて感じました。もし、友達がデートDVのようなことで悩んでいたら、相手を責めるような言葉ではなく、慎重に言葉を選んで声をかけてあげたいと思います。